



# ♡まんまるはーと♡

第1号

認定こども園和光幼稚園

平成29年4月28日

主幹 宮園 貴子



## 【子どもたちの遊びから育つもの】

平成29年度が始まり、1か月が経とうとしています。

新入園児、在園児ともに、初めての環境や友達、先生に戸惑いと不安、そして少しの期待を持っての園生活の始まりだったことと思います。

園生活に慣れない時は、保護者との別れに涙がでるだけではなく、遊びに誘っても見ているだけ、体は動いても心が躍動していない状態が続きます。しかし、何日かの経験を経て、園生活の流れを理解し、遊びが終わると家に帰るという見通しを持てるようになり、友達の存在を喜び、一緒に遊ぶことを楽しむようになります。

3歳児A君は、一人でソフト積み木の上に座り、周りの様子を見ていました。教師が「何しているの?」と聞いても、「う〜ん」と言うだけです。

そこで「先生も入れて」と言って、一緒に積み木に座り、A君と同じように周りを見てみると、A君が小さな声で「魚釣りだよ」と答えました。教師が「本当だ!魚が釣れた」と言うと、A君が「釣れた魚はここ」と言いながら、遊びが展開していき、その様子を見ていたB君C君も遊びに参加し、子どもたち同士の会話が生まれました。



子どもたちが園の中で遊びを中心とした生活となるように、私たち教師も、一人の遊びから友達との遊びへと遊びをふくらませて

いんこがようちえんに  
きてくれたよ



いくように今後も努めていこうと感じた瞬間でした。

砂場で遊んでいた5歳児が、片付けの時間になり、様々な道具を片付けています。しかし、遊びの間に掘った穴だけは、そのままにしていました。すると、他の子が「もう時間だから」と言って、その穴をさっさと埋めて平らにしようとしていました。

それに抵抗したのは、穴を掘った子どもたちでした。

それぞれの思いを話し合い、もう一度掘って埋めるという行動をして、決着をつけました。



子どもたちの遊びの世界には、様々な環境や空間があります。大人から見れば「たかが〇〇」のように見えても、子どもにとっては「されど〇〇」です。目に見えない経験の履歴が、その子には特別な意味を持っています。

遊びの中から、友達同士のかかわりが生まれ、思いを伝え合う経験をしていきます。その経験から心が育ち、友達や教師と一緒にいることが楽しいものとなります。

これから、様々な体験・経験をしていく子どもたちに寄り添いながら、共に育つ和光幼稚園の教師で在りたいと思います。

今年度1年、どうぞよろしく願いいたします。

こいのぼりが  
げんきよく  
およいでいるよ

